

放射線管理室報告

小向康夫

慶應義塾大学理工学部中央試験所（放射線管理室担当）

komuzo@adst.keio.ac.jp

1.はじめに

平成20年11月5日に慶應義塾大学理工学部・理工学研究科放射線安全管理委員会及び放射線管理室が設置された。RI(Radioactive Isotope)利用者の利用手続き及び管理について、設置以前は放射線取扱主任者を中心とした数名の教職員で管理業務にあたっていたが、学外放射光施設利用者の増加や法令改正に伴う事務手続き及び法定帳簿の変更等に迅速に対応するため、新たに放射線安全管理委員会を設け、その事務局として放射線管理室を設置することとなった。（図1）

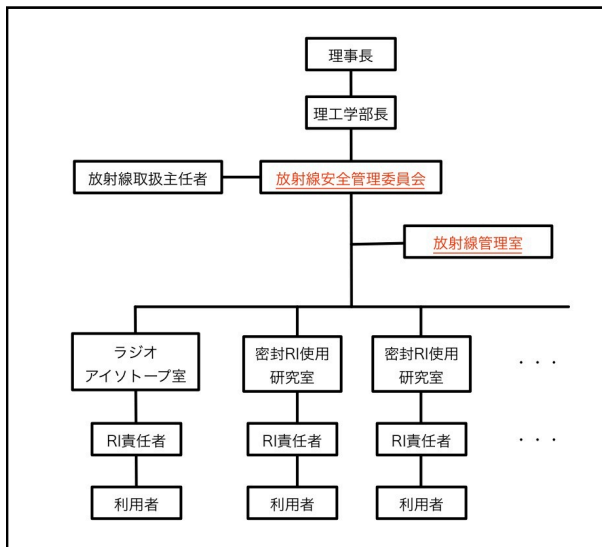


図1 管理体制

2.放射線管理室の業務

放射線管理室の主な業務は、

- ・放射線教育訓練の実施
- ・放射線業務従事者登録
- ・被ばく管理
- ・法定書類整備

である。放射線教育訓練は毎年4月に2日間の講義＋試験という形式で実施しており、スケジュールの都合で参加できない場合は、個別に教育訓練を実施している。放射線業務従事者登録について

は教育訓練の受講結果と放射線利用に係る健康診断の結果を踏まえて放射線取扱主任者が判断をおこなっており、登録後の被ばく管理や使用記録等の法定書類の整備については放射線管理室で取り纏めをおこなっている。（表1に放射線管理室で管理している書類の一例を示す）

表1 1年間に作成する帳簿例

放射線利用に係る法定帳簿
<ul style="list-style-type: none">・放射線教育訓練結果・放射線業務従事者登録・受入・保管・払出・運搬の記録（密封線源）・使用記録（密封線源）・放射線の量の測定（密封線源）・自主点検（密封・非密封線源）・受入・保管・使用・廃棄・払出の記録（非密封）・汚染検査・空間線量測定（非密封線源）・排水記録（非密封線源）・排気記録（非密封線源）・空气中放射性物質濃度測定結果（非密封線源）・内部被ばく線量記録（非密封線源）・実効線量及び等価線量算定記録（密封・非密封）・健康診断の結果・個人線量測定結果

全ての書類は一年毎に取り纏め、放射線安全管理委員会に報告している。またそれらの書類は法令に定められた期間中、放射線管理室で保管をおこなっている。

3.まとめ

放射線管理室ではRI利用者が安全かつ効率良く実験が行えるように、教育訓練の実施や、事務手続きをおこなっている。今後も定期的開催される放射線安全管理研修会等に参加して法令改正等の最新の情報を収集しながら、迅速な対応を心がけて業務を進めていきたいと考えている。